

A0202-02	空気マスク用取り出しの接続は正しくなされていることを確認せよ		
本文	酸欠作業などで空気マスクを使用する場合、空気マスク用以外の他の配管取り付けができないよう担保する措置を施し、作業の際は空気マスク用取り出しが正しく接続されていることを確認する。		
リスクの種類	酸欠死、呼吸不全	関連目次・章節	A0104
理由(何故)	酸欠作業用の空気マスクは、必ず安全な空気配管に正しく接続していることを確認しないと、作業時に他の危険なガスを吸って重大な人身事故を起こすことになる。		
方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取り出し部分の配管の識別を明瞭にする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 流体名やその行き先を明示する。</li> <li>2) ガス種毎に適正な色を配管に塗る。(例、空気;白、窒素;黒 等)</li> </ol> </li> <li>2. 接続具の形やサイズで誤接続が出来ないように対策を講じる(エラーレジスタンス)</li> <li>3. 酸欠作業を外部から監視できる場所に監視人を配置し、作業状況を常に監視しておくこと。</li> <li>4. 安全衛生教育を事前に十分に行うこと</li> <li>5. 作業標準を作業員や管理者に徹底すること 特に、作業主任者の責務、作業員の責務、監視人の責務なども徹底すること。</li> </ol>		
事故例	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 工場内において、原料中間体を濾過器より取り出す作業を行うための準備として、ポリエステル製の袋を使用した自作のマスクを装着した際、マスクのエアラインを空気配管に接続すべきところ、アルゴンガス配管に接続したため、アルゴンガスを吸入し、酸素欠乏症に被災(休業6ヵ月)した。</li> <li>2) 工場内にあるトルエン貯蔵タンクのタンク内清掃を行うため、その準備として、エアラインマスクを装着した際、マスクのエアラインを空気配管に接続すべきところ、窒素配管に接続したため、窒素を吸入し、酸素欠乏症により死亡した。</li> </ol>		
法的参考事項	労働安全衛生法第57条、酸素欠乏症等防止規則 配管識別色は JIS Z 9102 を参照のこと		
備考	事例出典 厚生労働省基安労発第0614001号(H16.6.14)		